

[様式2]

杉並区立杉並和泉学園

令和7年度 レクリエーション 部の活動方針・活動計画

令和7年4月1日

1 指導体制

| 顧問教諭等氏名 | | 外部指導者氏名 | 資格等や経験 | 頻度 |
|---------|--------|---------|--------|----|
| 顧問 | 師岡 真一 | | | |
| 顧問 | 舟部 綾希 | | | |
| 顧問 | 原村 亜友子 | | | |
| 顧問 | 大木 健市 | | | |

2 部員数 7年生4人 8年生0人 9年生 1人 合計5人

(令和7年4月末現在)

| | 男 | 女 | 合計 |
|----|---|---|----|
| 7年 | 3 | 1 | 4 |
| 8年 | 0 | 0 | 0 |
| 9年 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | 4 | 1 | 5 |

3 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた生徒像

「Create・Communicate・Challenge」の3CとDiversityの意識を高める。

(2) 大会などの到達目標

大会参加の予定なし。

4 活動方針

(1) 生徒の自主性・自発性を大切にした活動を行う。

(2) 生徒間の暴力、教員の体罰等のないようにし、部員が部活動を待ち望む活動を行う。

(3) 各教科等への学習意欲や責任感、連帯感の涵養等を目指した活動を行う。

(4) 生涯に渡り、心身の健康を保持・増進し、明るく豊かなスポーツライフを実現しようとする態度等を育む。また、文化、表現、研究、奉仕的活動等の楽しさを体験することを通して、それらの活動を愛好する心情や豊かな感性、情操等をはぐくむ。

5 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

6 活動計画

(1) 活動日： 月曜日

(2) 活動時間： 平日 14：30～15：30 (1時間程度)

(3) 年間活動予定

| 学 期 | 月 | 内 容 |
|------|----|------------------------|
| 1 学期 | 4 | ・オリエンテーション |
| | 5 | ・ストレッチ、軽運動、レクリエーションゲーム |
| | 6 | ・カードゲーム、ボードゲーム |
| | 7 | |
| 2 学期 | 8 | ・ストレッチ、軽運動、レクリエーションゲーム |
| | 9 | ・カードゲーム、ボードゲーム |
| | 10 | |
| | 11 | |
| | 12 | |
| 3 学期 | 1 | ・ストレッチ、軽運動、レクリエーションゲーム |
| | 2 | ・カードゲーム、ボードゲーム |
| | 3 | |